

金融で未来を拓く

F P G Financial
Partners
Group

2025年9月期 連結決算説明資料 (2024年10月～2025年9月)



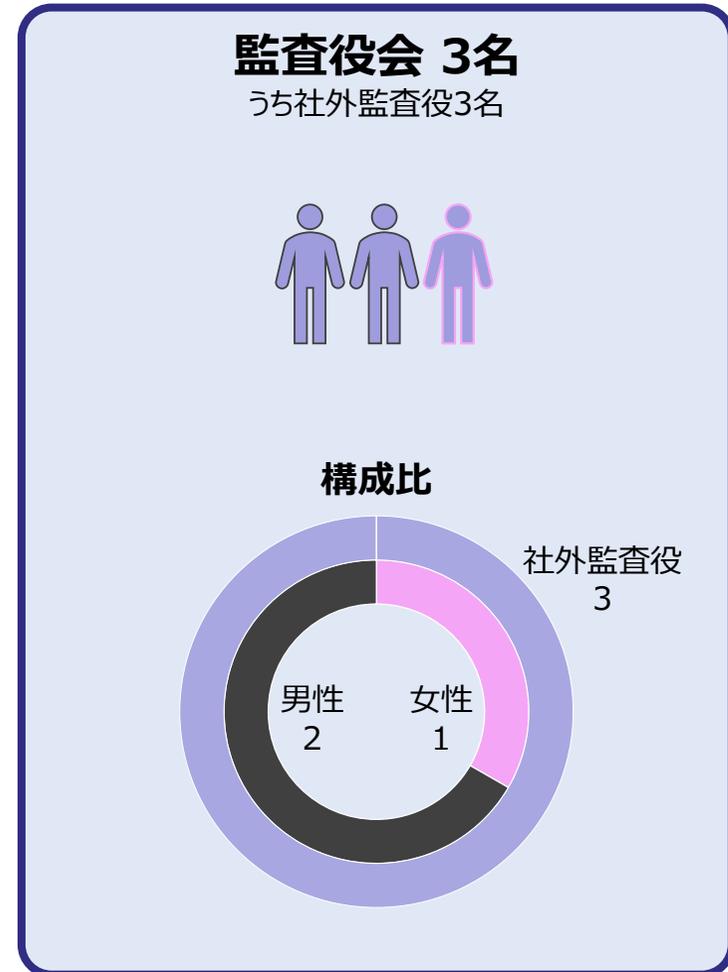
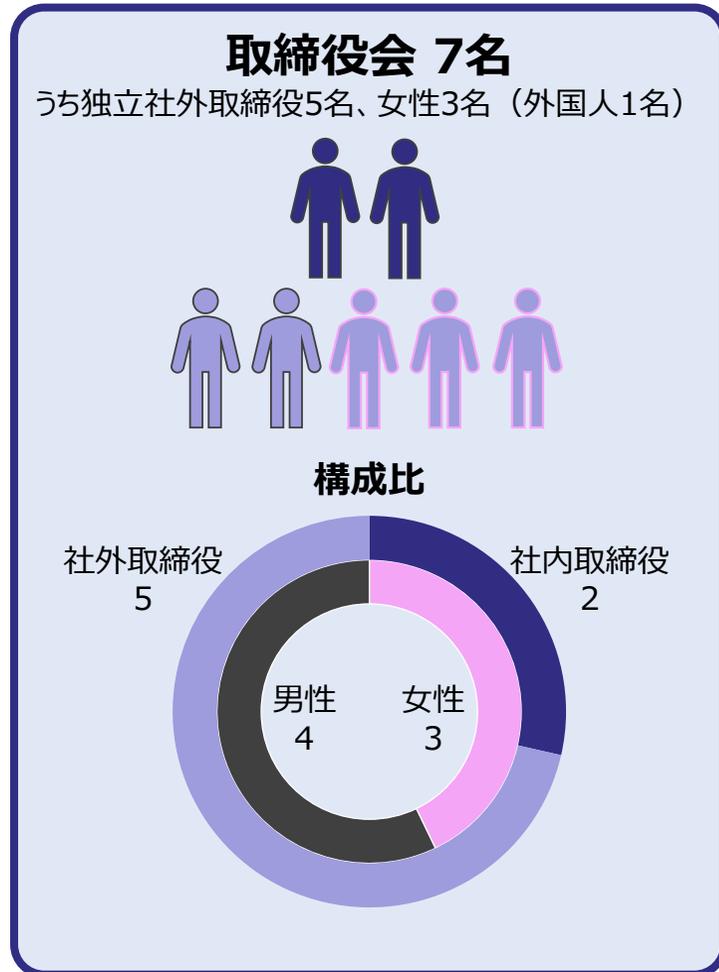
株式会社 F P G
(証券コード：7148)

金融で未来を拓く

私たちは、常にお客さまと伴走し、
金融で未来を拓く、
ファイナンシャルパートナーを目指します。

コーポレート・ガバナンス体制

- 当社取締役会は7名中5名が独立社外取締役となり、さらに7名中3名が女性取締役（内、1名は外国人）で構成され、高い独立性と多様性を確保
また、監査役会は3名全員が独立社外監査役（内、1名は女性）



- さらなる企業認知度向上のため、テレビ東京系列「WBS(ワールドビジネスサテライト)」※1にて、全国※2で放映中
- 2025年4月より、テレビ朝日系列「報道ステーション」※3でも、全国※2で放映を開始



F P G公式YouTubeチャンネルでも公開中



<https://youtu.be/axQwWBY2O3o>

※1 テレビ東京系列「WBS (ワールドビジネスサテライト)」放送時間：月曜日～木曜日 22:00～22:58 金曜日 23:00～23:58

※2 一部地域を除く

※3 テレビ朝日系列「報道ステーション」放送時間：月曜日～金曜日 21:54～23:10 当社CM放映日：毎週金曜日

- FPGを中心に、FPG証券、FPG信託、そしてFPG Amentumと、当社グループの総合力を結集した、国内初の個人向け航空機小口化商品として「F.bit第1号」を組成※1
- 6月30日に申込受付を開始し、発行口数を上回る申込みがあり、抽選の結果、7月24日に完売※2
- 好評につき、F.bit第2号の組成に着手



※1 2025年5月12日 PR開示「〈国内初〉公募型の受益証券発行信託による 個人投資家向け航空機小口化商品（1口100万円）の取扱い開始のお知らせ」

※2 2025年7月24日 PR開示「個人投資家向け航空機小口化商品「F.bit 航空機小口化商品第1号」の完売のお知らせ」

営業拠点の拡大とオンライン取引の拡充

- 2025年4月の盛岡営業所、2025年7月の水戸営業所と京都営業所に続き、2025年10月に静岡営業所を開設※1し、営業拠点は18拠点に拡大
- 2025年10月より、オンライン取引の対象を国内不動産ファンド事業に拡充
- 今後は海外不動産ファンド事業にも広げ、お客さまのさらなる利便性向上と、業務効率化に向けたDXを積極的に推進

FPG

不動産小口化商品
オンライン取引開始

物件画像はイメージです

※1 2025年9月26日付 PR開示 [「営業所新設に関するお知らせ」](#)

※2 2025年10月14日付 PR開示 [「国内不動産ファンド事業（不動産小口化商品）のオンライン取引開始のお知らせ」](#)

2025年9月期 業績サマリー① 連結

- 連結売上高は、リースファンド事業と国内不動産ファンド事業がけん引した結果、1,297億円超と前期の過去最高を更新し、対前年・期初予想比でともに増収
- 利益面は、国内不動産ファンド事業において開発案件である「プレステージレジデンス白金台」（高級賃貸マンション）の販売時期をマンション価格の先高観を踏まえ、より高い収益性を見込み、当初計画の当期から来期としたことを主因に、対前年・期初予想比で、ともに減益
- 期末配当金は、期初予想を維持し65円20銭^{※1}とし、1株当たり年間配当金は中間配当金65円20銭と合わせて130円40銭（配当性向60.3%、前年比10円10銭の増配）

(金額：億円)

連結P/L	通期		対前年比		対期初予想比	
	2024年9月期	2025年9月期	増減額	増減率	期初予想	達成率
売上高	1,077.8	1,297.6	+219.8	+20.4%	1,235.0	+5.1%
売上総利益	383.4	360.4	▲23.0	▲6.0%	426.0 ^{※2}	▲15.4%
営業利益	286.3	254.1	▲32.1	▲11.2%	317.0	▲19.8%
経常利益	289.0	264.9	▲24.1	▲8.4%	317.0	▲16.4%
売上高経常利益率	26.8%	20.4%	-	▲6.4%	25.7%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	204.5	181.5	▲23.0	▲11.2%	220.0	▲17.5%
売上高当期純利益率	19.0%	14.0%	-	▲5.0%	17.8%	-
1株当たり年間配当金 (円)	120.30	130.40^{※1}	+10.10	+8.4%	130.40	-

※1 2025年9月期の期末配当金（1株当たり65.20円）は、2025年12月23日開催予定の第24期定時株主総会に付議

※2 2025年9月期の連結売上総利益予想額は、期初公表時の業績予想には含まれない、社内計画に基づく参考情報

© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

2025年9月期 業績サマリー② 事業別

- **リースファンド事業**：出資金販売額は、投資家から好評の短期フルエクイティ案件※1を積極的に販売した結果、過去最高を大幅に更新。売上高は、海外子会社における航空機の売却※2もあり、過去最高を更新。売上総利益は、対前年比では減益となるも、期初予想※3を超過
- **国内不動産ファンド事業**：売上高は、不動産小口化商品の過去最高販売額を大幅に更新し、対前年比で増収となり、期初予想も超過。売上総利益は、原価率の高いプレミアムな大規模案件の販売構成比の増加や、前年に計上があった一括売却による成功報酬の剥落があったものの、対前年比で増益。開発案件の販売を来期へ持ち越したことにより、期初予想は未達
- **海外不動産ファンド事業**：慎重な取り組みを継続した結果、売上高・売上総利益ともに期初予想は未達となるも、対前年比では増収増益

(金額：億円)

		通期		対前年比		対期初予想比	
		2024年9月期	2025年9月期	増減額	増減率	期初予想	達成率
リースファンド事業	売上高	292.7	298.4	+5.6	+1.9%	270.0	+10.5%
	売上総利益	261.1	231.4	▲29.7	▲11.4%	227.0 ^{※3}	+2.0%
	出資金販売額	1,843.7	2,332.2	+488.5	+26.5%	2,100.0 ^{※4}	+11.1%
国内不動産ファンド事業	売上高	750.9	959.8	+208.9	+27.8%	910.0	+5.5%
	売上総利益	97.2	100.7	+3.5	+3.6%	155.0 ^{※3}	▲35.0%
	販売額	738.4	949.5	+211.1	+28.6%	900.0	+5.5%
海外不動産ファンド事業	売上高	27.3	35.1	+7.8	+28.7%	50.0	▲29.7%
	売上総利益	23.5	31.0	+7.5	+32.0%	44.0 ^{※3}	▲29.4%
	出資金販売額	128.8	168.5	+39.7	+30.8%	200.0	▲15.8%
その他事業	売上高	6.7	4.1	▲2.6	▲38.4%	5.0	▲16.5%
	売上総利益	1.5	▲2.8	▲4.3	-	0.0 ^{※3}	-

※1 本資料P.28「本資料中の事業区分と売上高について」をご参照

※2 AMENTUM ALPHA LIMITEDが保有し、連結貸借対照表に「販売用航空機」として資産計上していた航空機を一括売却したことに伴い、売却額25.5億円をリースファンド事業の売上高にグロス計上

※3 2025年9月期の事業別売上総利益予想額は、期初公表時の業績予想には含まれない、社内計画に基づく参考情報

※4 2025年7月31日公表の修正予想額

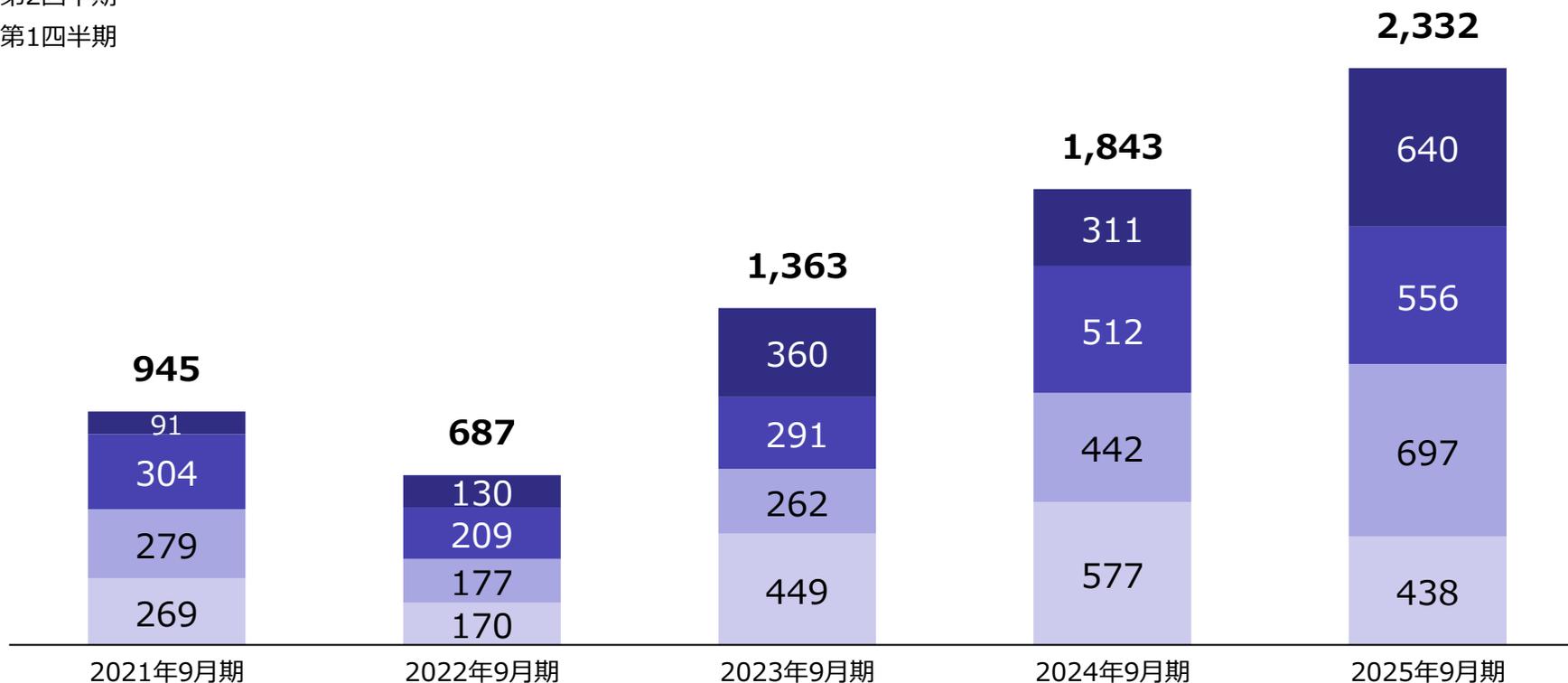
© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

- 投資家から好評の3年未満の短期フルエクイティ案件※がけん引し、販売額は2,332億円と前年に記録した通期での過去最高販売額を大幅に更新

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



※ 本資料P.28「本資料中の事業区分と売上高について」をご参照

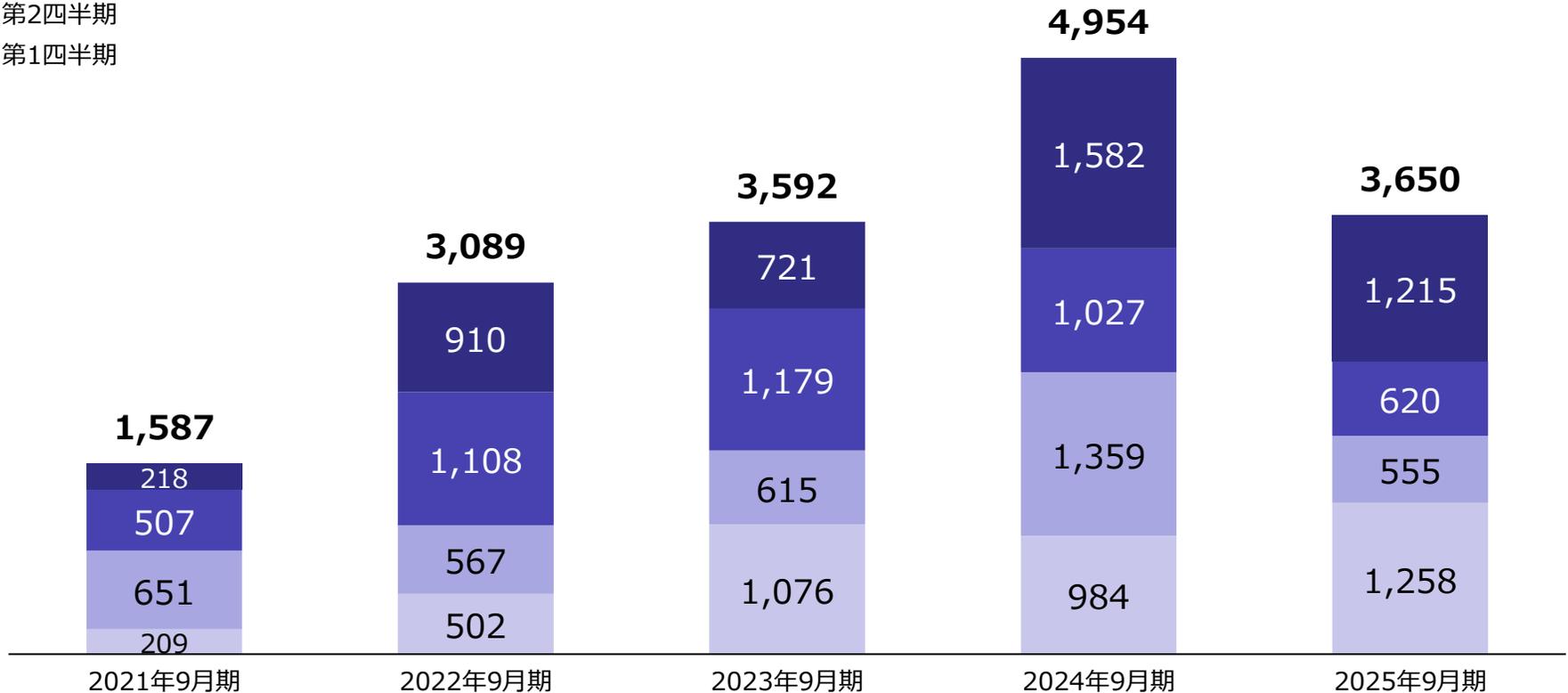
リースファンド事業 組成

- 年間組成額は3,650億円と修正予想額の3,700億円をほぼ達成

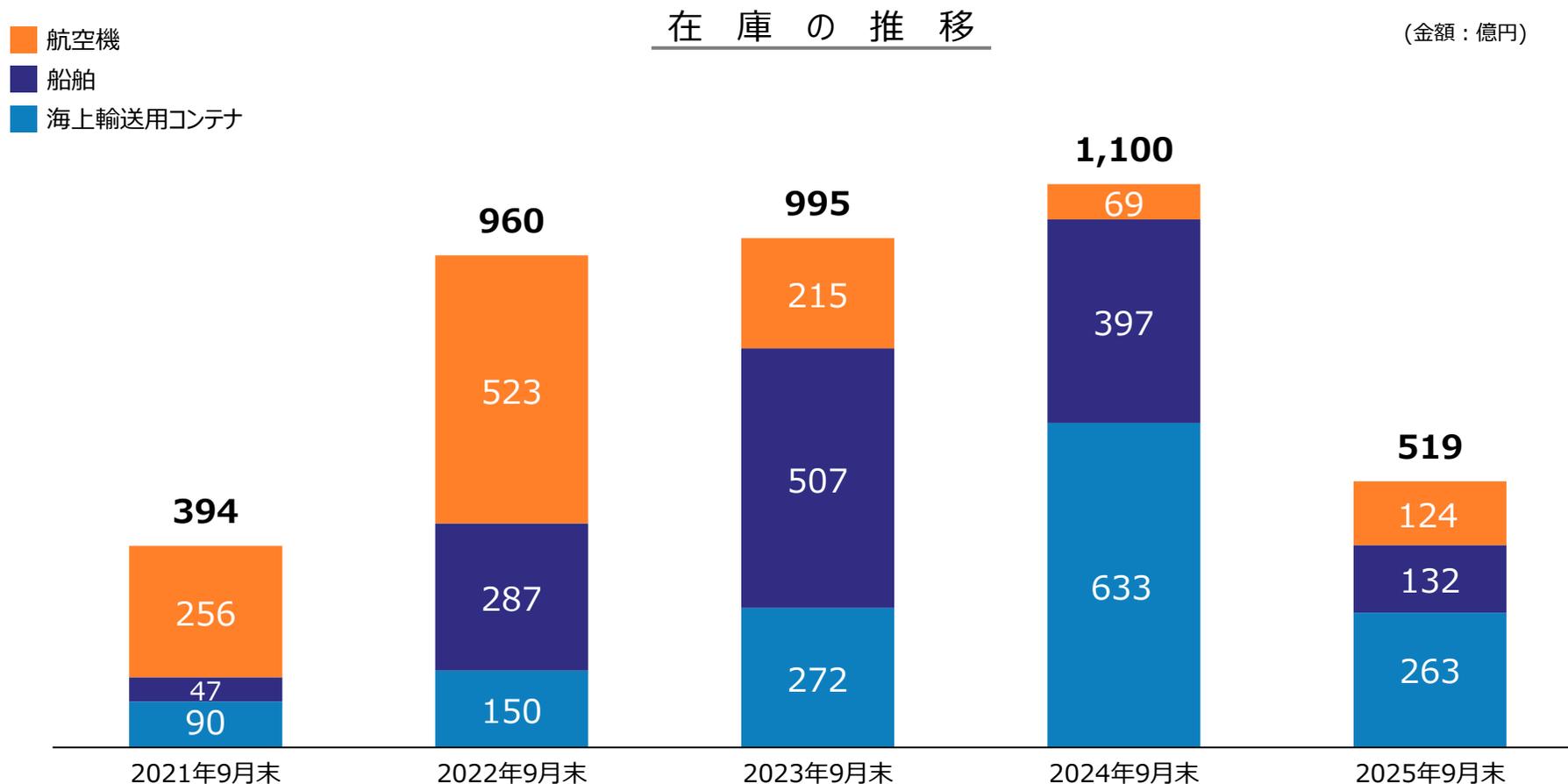
組成額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 好調な販売に伴い一時的に在庫が減少

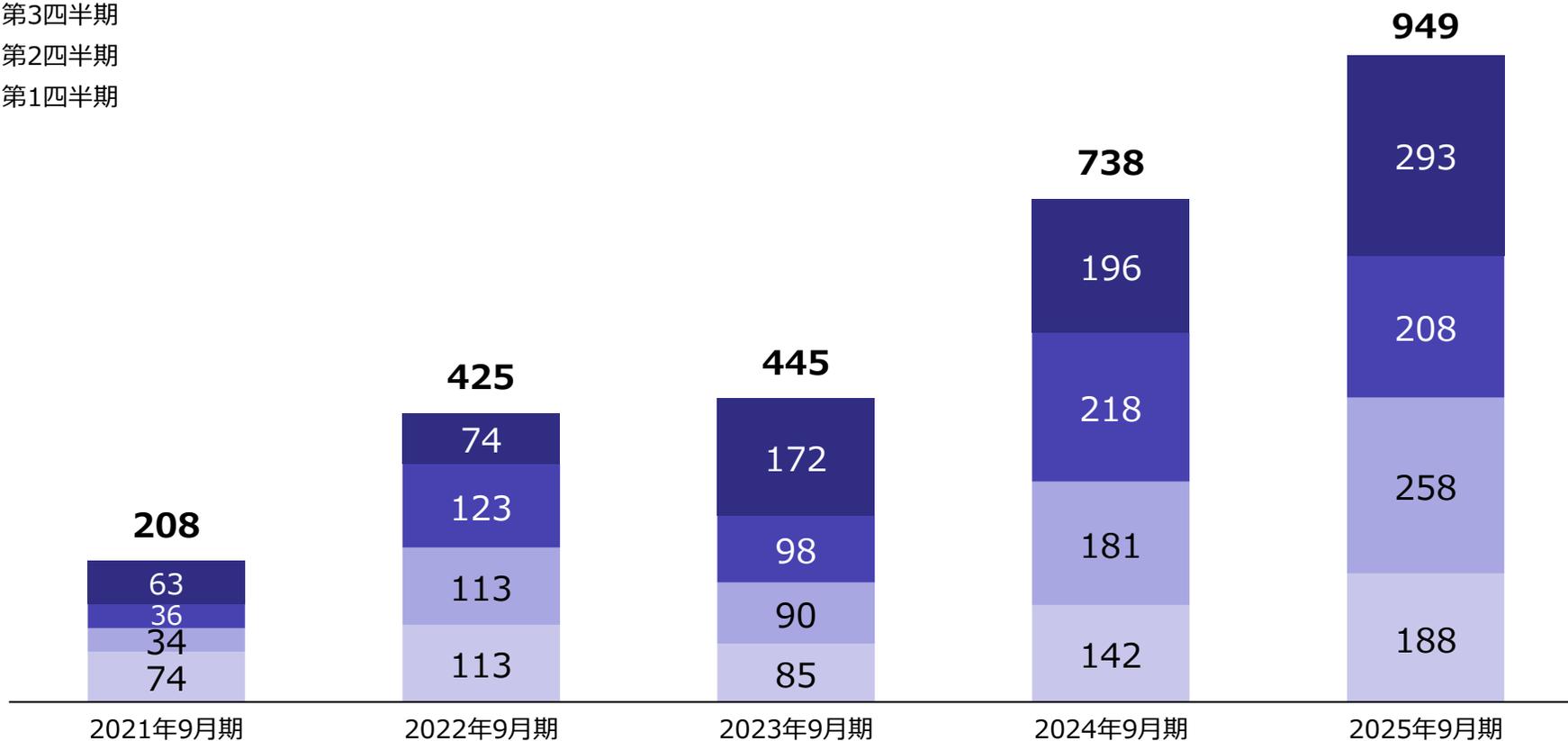


- 投資家の旺盛な需要に応え、第4四半期も積極的な販売を継続した結果、5期連続で年間最高販売額を更新し、累計販売額は3,000億円を突破※

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



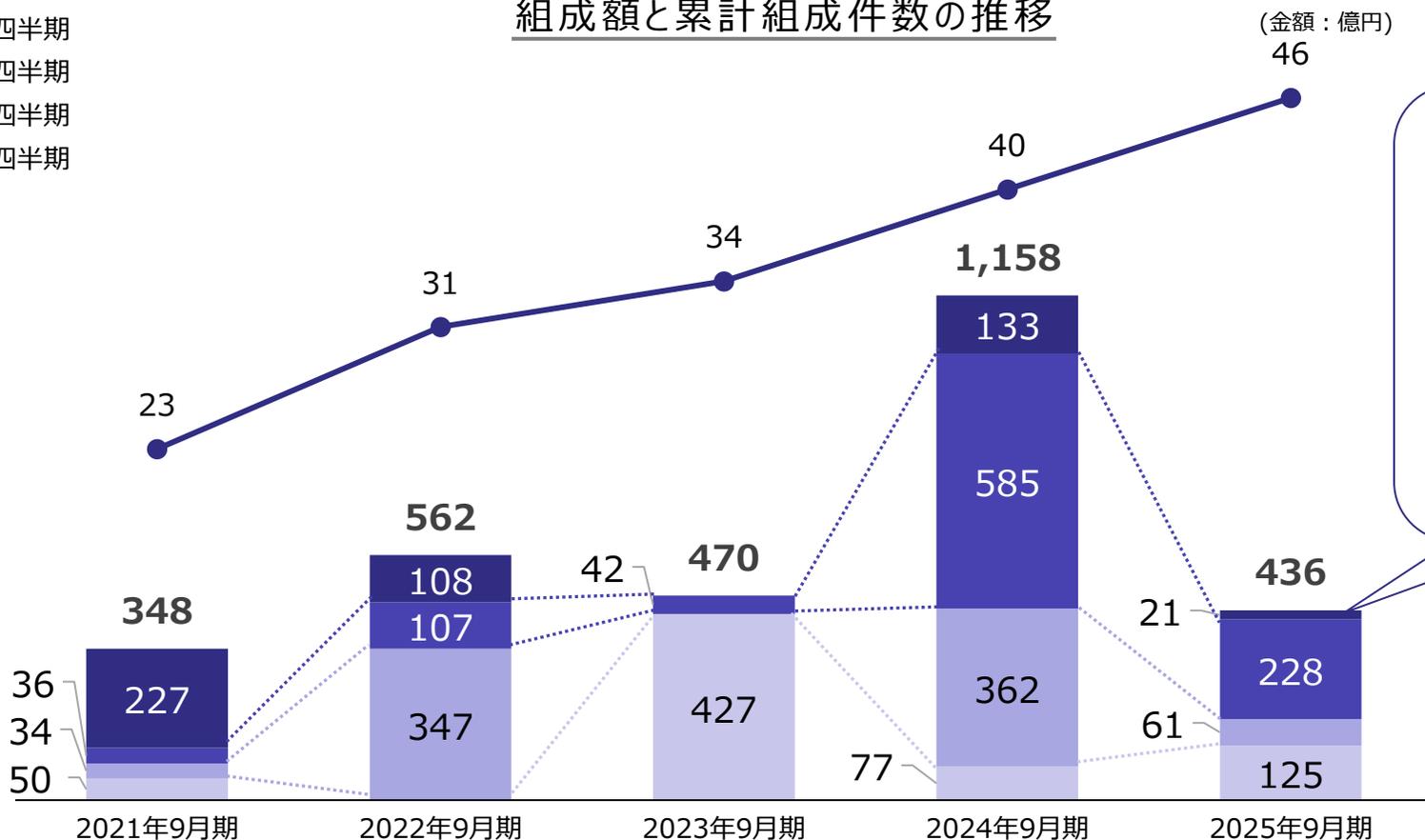
※ 2025年10月30日 PR開示「国内不動産ファンド事業の累計販売額が3,000億円を突破 ～お客様からの旺盛な需要に応え、年間販売額も過去最高を達成～」

■ 2025年9月に「F P Gリンクス大手町」※を組成

● 累計組成件数 (単位: 件)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

組成額と累計組成件数の推移



F P Gリンクス大手町

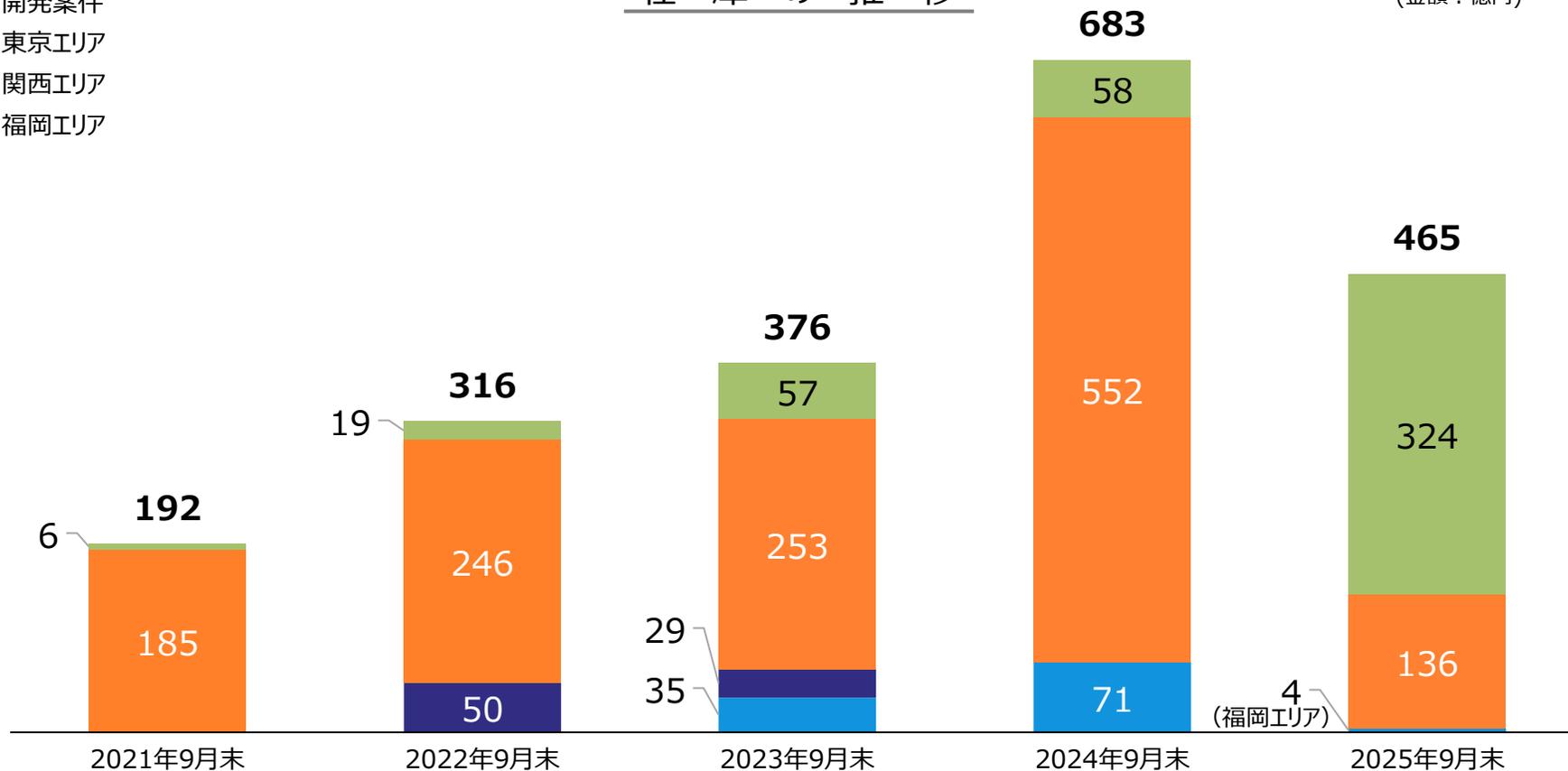
※ 2025年9月30日付 PR開示 [「組成用不動産\(Premium Asset Series\)の取得完了のお知らせ」](#)

- 積極的な販売により一時的に在庫が減少。さらなる成長に向け、在庫の早期積み上げを目指す
- 2025年6月より新たな大規模開発案件「神宮前5丁目計画」※に着手

在庫の推移

(金額：億円)

- 開発案件
- 東京エリア
- 関西エリア
- 福岡エリア



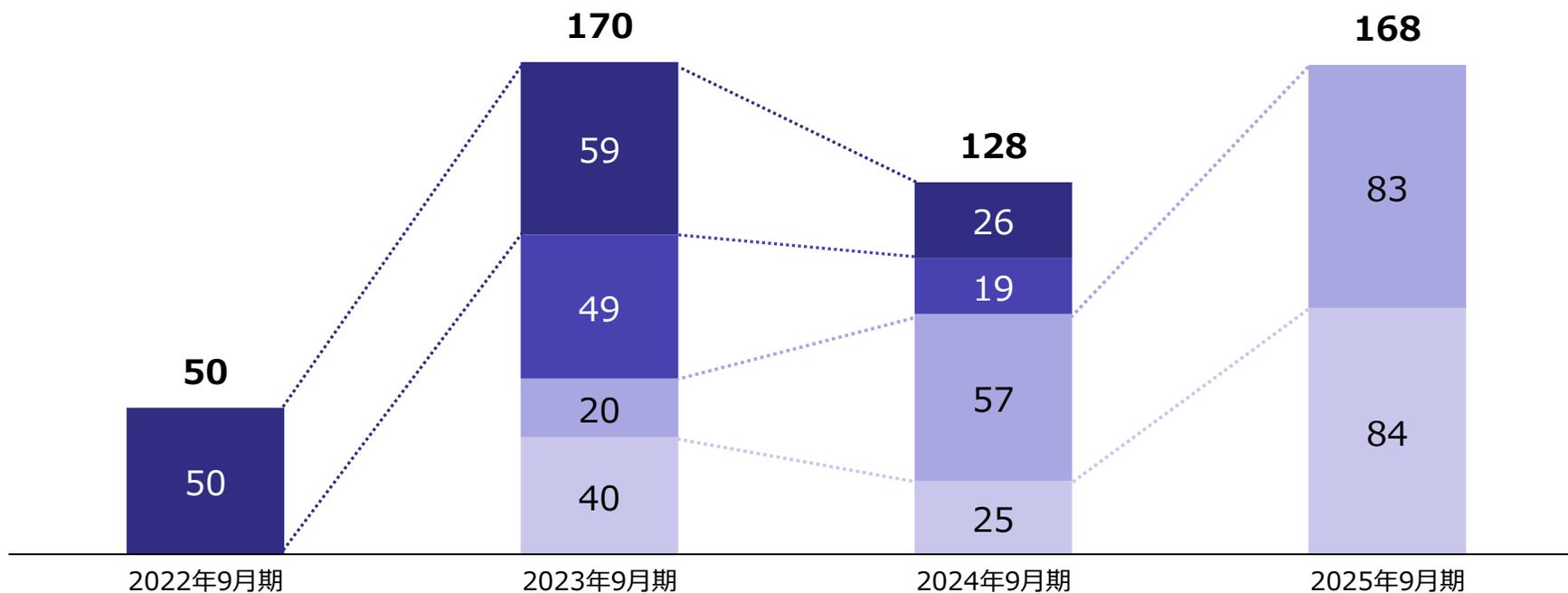
※ 2025年6月25日付 PR開示 [「開発案件用地の取得完了に関するお知らせ」](#)

- 過去最高販売額に迫るも、在庫完売に伴い、下期における販売実績は無し

販売額の推移

(金額：億円)

- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

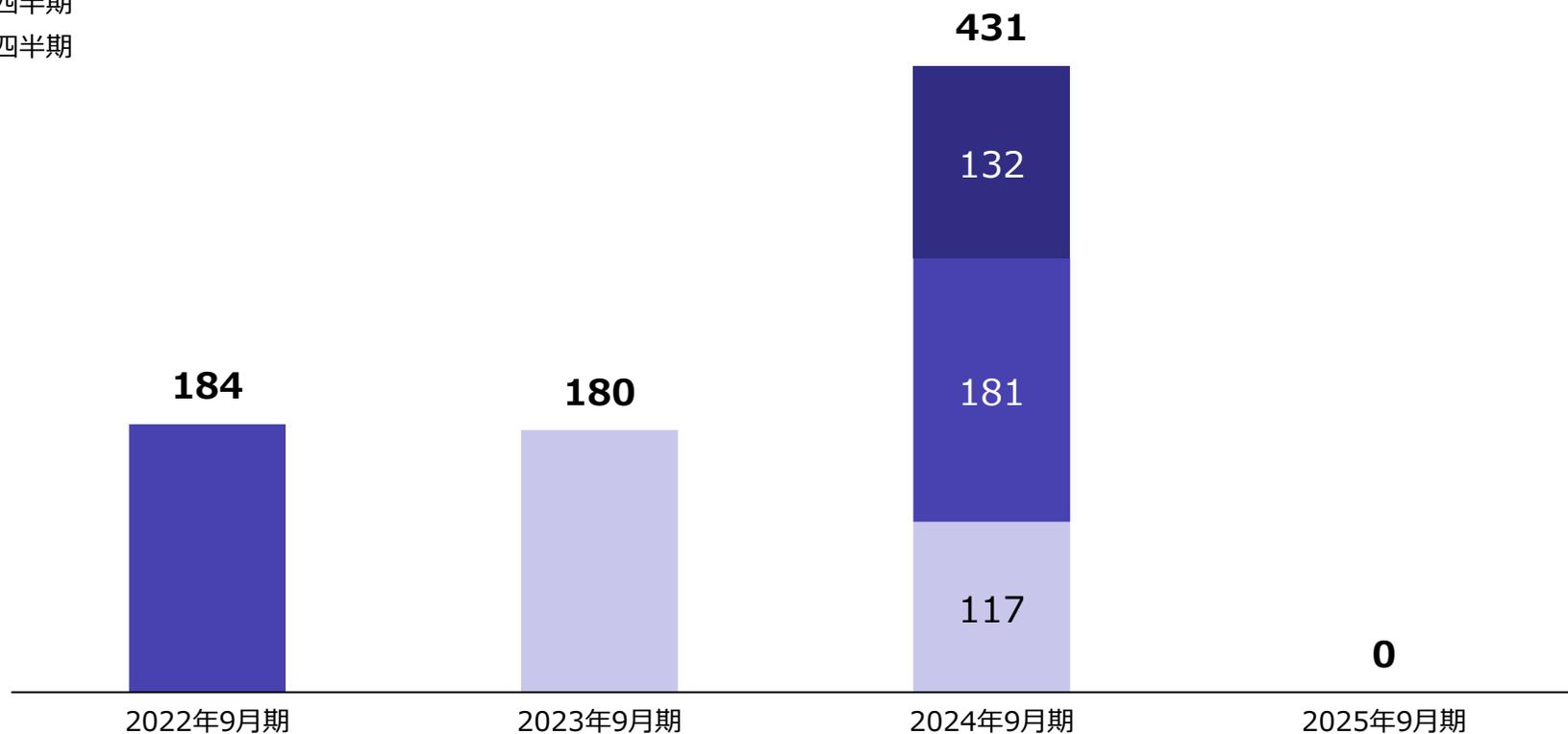


- 米国の金利やインフレの動向を注視し、慎重な取り組みを継続した結果、当期の組成は見合わせ

組成額の推移

(金額：億円)

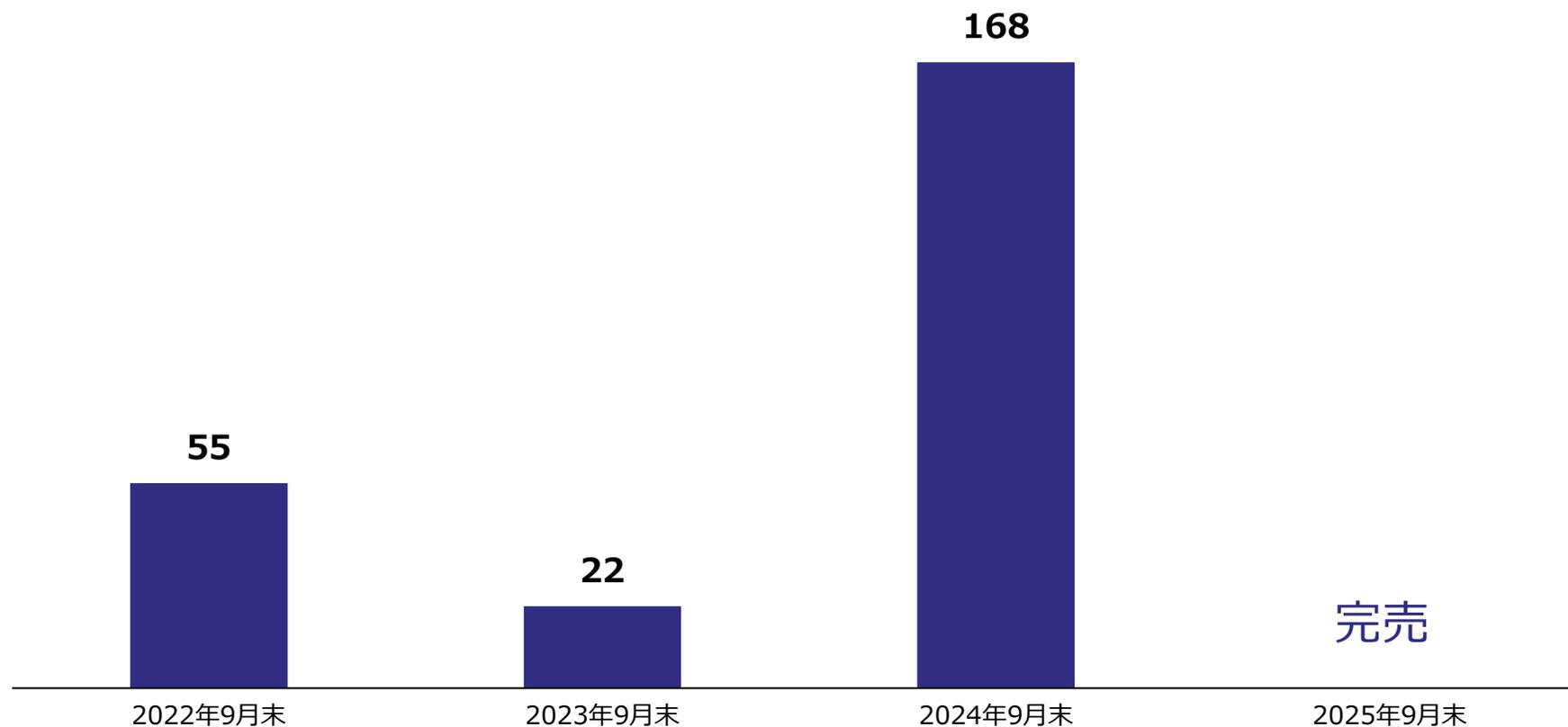
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期



- 期初在庫は積極的な販売を推進した結果、上期で完売し、在庫はゼロ

在庫の推移

(金額：億円)



2026年9月期 業績・配当予想

2026年9月期 業績・配当予想

- 過去最高益^{※1}の更新を目指す
- 1株当たり年間配当金は、連結配当性向50%を目安とする株主還元方針に則り、125円40銭を予想

(金額：億円)

	2025年9月期 実績	2026年9月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	1,297.6	1,305.0	+7.3	+0.6%
売上総利益	360.4	416.0	+55.5	+15.4%
営業利益	254.1	304.0	+49.8	+19.6%
経常利益	264.9	306.0	+41.0	+15.5%
売上高経常利益率	20.4%	23.4%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	181.5	210.0	+28.4	+15.7%
売上高当期純利益率	14.0%	16.1%	-	-
配当金 (円)				
中間配当金	65.20	62.70		
期末配当金	65.20 ^{※2}	62.70		
1株当たり年間配当金	130.40	125.40	▲5.00	

※1 過去最高益：2024年9月期 親会社株主に帰属する当期純利益 204.5億円

※2 2025年9月期の期末配当金（1株当たり65.20円）は、2025年12月23日開催予定の第24期定時株主総会に付議

© 2025 Financial Partners Group Co., Ltd.

2026年9月期 業績予想 事業別売上高／売上総利益

- **リースファンド事業**：売上高は、前年の海外子会社における航空機の売却※による販売額のグロス計上分を除くと増収となり、それに伴い売上総利益は増益を見込む
- **国内不動産ファンド事業**：積極的な組成と販売を推進し、増収増益を見込む
- **海外不動産ファンド事業**：米国の金利やインフレの動向を注視しつつ、組成と販売を推進

(金額：億円)

		2025年9月期 実績	2026年9月期 予想	対前年比	
				増減額	増減率
リースファンド事業	売上高	298.4	280.0	▲18.4	▲6.2%
	除く「販売用航空機」	272.9	280.0	+7.0	+2.6%
	売上総利益	231.4	239.0	+7.5	+3.3%
国内不動産ファンド事業	売上高	959.8	1,000.0	+40.1	+4.2%
	売上総利益	100.7	160.0	+59.2	+58.8%
海外不動産ファンド事業	売上高	35.1	20.0	▲15.1	▲43.1%
	売上総利益	31.0	17.0	▲14.0	▲45.3%
その他事業	売上高	4.1	5.0	+0.8	+19.8%
	売上総利益	▲2.8	0.0	+2.8	-

※ AMENTUM ALPHA LIMITEDが保有し、連結貸借対照表に「販売用航空機」として資産計上していた航空機を一括売却したことに伴い、売却額25.5億円をリースファンド事業の売上高にグロス計上

2026年9月期 業績予想 販売額

- **リースファンド事業**：年間販売額は対前年比で減少するも、収益性は改善を見込む
- **国内不動産ファンド事業**：販売額1,000億円を目指し、積極的な販売を推進
- **海外不動産ファンド事業**：米国の金利やインフレの動向を注視しつつ、組成と販売を推進

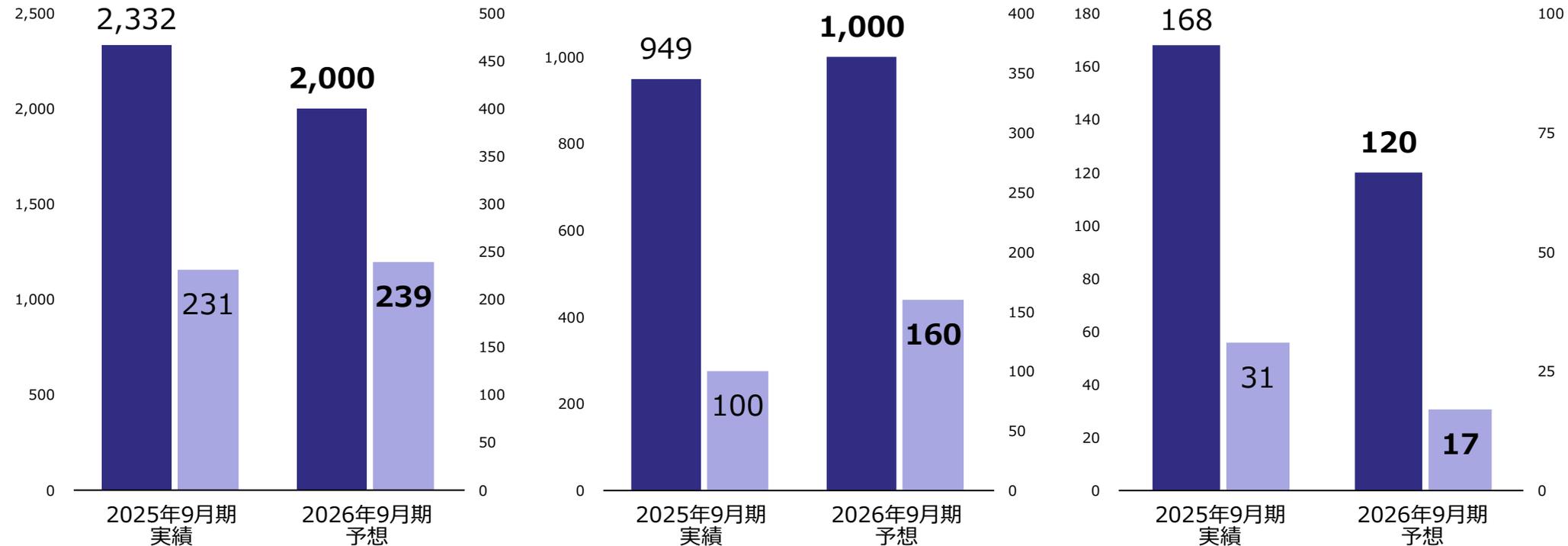
■ 販売額（左軸）
■ 売上総利益（右軸）

(金額：億円)

リースファンド事業

国内不動産ファンド事業

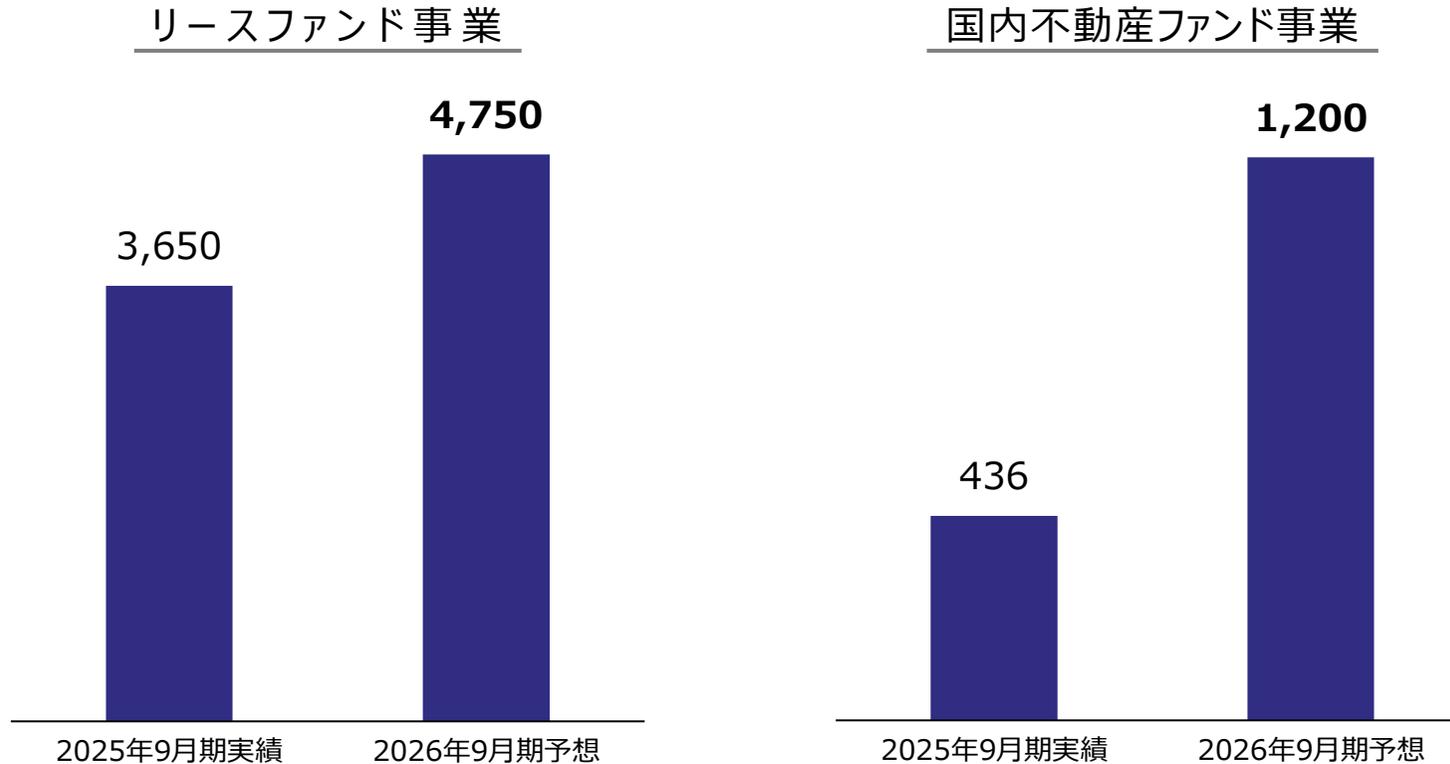
海外不動産ファンド事業



2026年9月期 業績予想 組成額

- **リースファンド事業**：前期からの期ずれ案件を含め、積極的な組成を推進
- **国内不動産ファンド事業**：東京および国内主要都市での積極的な組成を推進

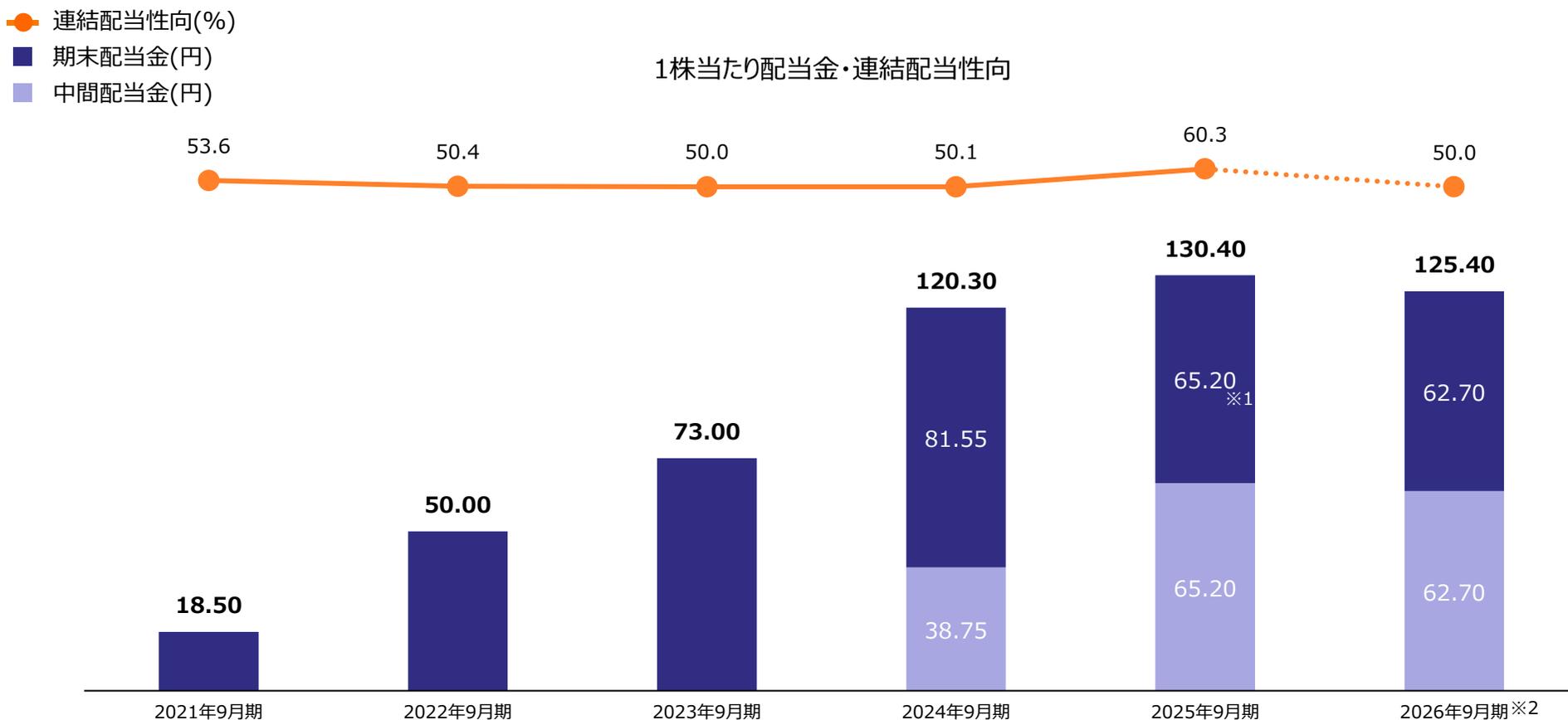
■ 組成額



※ 海外不動産ファンド事業の組成額は非公表

■ 持続的な成長と企業価値向上のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向50%を目安とした配当を実施

- ✓ 2025年9月期 : 1株当たり年間配当金130.40円※1
- ✓ 2026年9月期（予想） : 1株当たり年間配当金125.40円※2



※1 2025年9月期の期末配当金（1株当たり65.20円）は、2025年12月23日開催予定の第24期定時株主総会に付議

※2 2025年10月30日現在の予想値

ご参考

連結損益計算書の概要

(金額：億円)

	2024年9月期	2025年9月期	対前年比		
			増減額	増減率	
売上高	1,077.8	1,297.6	+219.8	+20.4%	
① 売上原価	694.3	937.1	+242.8	+35.0%	① 売上原価 不動産取得原価、リースファンド事業 案件組成コスト、顧客紹介者への 支払手数料等を含む
売上総利益	383.4	360.4	▲23.0	▲6.0%	
販売費・一般管理費	97.1	106.2	+9.1	+9.4%	
営業利益	286.3	254.1	▲32.1	▲11.2%	
② 営業外収益	30.7	35.5	+4.8	+15.7%	② 営業外収益 一時的に立替えた出資金を投資家 に販売する際に徴収する立替利息 (受取利息として計上)、金銭の信託 運用益等を含む
③ 営業外費用	27.9	24.7	▲3.1	▲11.4%	
経常利益	289.0	264.9	▲24.1	▲8.4%	
税引前当期純利益	294.4	263.1	▲31.2	▲10.6%	③ 営業外費用 資金調達に伴う支払利息等
法人税等合計	89.6	81.6	▲8.0	▲8.9%	
親会社株主に帰属する当期純利益	204.5	181.5	▲23.0	▲11.2%	

連結貸借対照表の概要

(金額：億円)

資産	2024年9月期	2025年9月期	増減額	
流動資産	2,216.7	1,195.3	▲1,021.3	
現金預金	174.4	143.2	▲31.1	
①商品出資金	1,247.6	519.4	▲728.2	① 商品出資金 リースファンド事業および海外不動産ファンド 事業において投資家に販売するまで 当社グループが一時的に立替えている出資金
②金銭の信託（組成用航空機）	21.0	-	▲21.0	② 金銭の信託（組成用航空機） 航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
③組成用不動産	683.3	465.9	▲217.3	③ 組成用不動産 国内不動産ファンド事業における在庫
固定資産	89.4	73.2	▲16.2	
資産合計	2,306.1	1,268.5	▲1,037.6	
負債・純資産	2024年9月期	2025年9月期	増減額	
流動負債	1,317.4	410.0	▲907.4	
短期借入金等	1,046.0	258.5	▲787.4	
④契約負債	169.9	64.4	▲105.4	④ 契約負債 主にリースファンド事業および 海外不動産ファンド事業における手数料
固定負債	455.4	286.7	▲168.7	
長期借入金等	450.2	281.4	▲168.7	
負債合計	1,772.9	696.7	▲1,076.1	
純資産合計	533.2	571.8	+38.5	
負債純資産合計	2,306.1	1,268.5	▲1,037.6	

主な経営指標

	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2025年 9月期
売上高 (億円)	293.8 ^{※1}	375.9 ^{※1}	175.2 ^{※1}	335.8 ^{※1}	591.9	711.4	1,077.8	1,297.6
経常利益 (億円)	126.2	143.9	17.1	51.4	124.6	179.8	289.0	264.9
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	89.8	100.3	11.3	29.4	84.7	124.6	204.5	181.5
資本金 (億円)	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9	30.9
発行済株式総数 (千株)	92,373	90,673	89,073	89,073	89,073	89,073	85,403	83,803
純資産額 (億円)	297.4	329.8	274.8	293.9	361.5	442.9	533.2	571.8
総資産額 (億円)	851.4	1,258.3	1,328.5	918.9	1,580.5	1,836.7	2,306.1	1,268.5
1株当たり純資産額 (円)	326.03	369.59	318.90	342.39	422.35	517.45	629.36	681.46
1株当たり配当金 (円)	49.25	53.00	11.50	18.50	50.00	73.00	120.30	130.40
1株当たり当期純利益 (円)	99.71	113.01	12.98	34.51	99.24	145.97	240.07	216.18
ROE (%)	33.4	32.3	3.8	10.4	26.0	31.1	42.0	32.9
自己資本比率 (%)	34.5	26.0	20.5	31.8	22.8	24.1	23.1	45.0
配当性向 (%)	49.4	46.9	88.6	53.6	50.4	50.0	50.1	60.3
営業活動によるCF (億円)	115.8	▲248.4	121.9	266.5	▲508.7	47.7	▲292.6	1,082.4
投資活動によるCF (億円)	▲8.8	▲3.9	▲21.7	▲11.4	▲5.5	▲93.5	65.6	8.0
財務活動によるCF (億円)	▲98.1	288.4	▲8.9	▲319.1	436.4	73.4	242.2	▲1,108.7
現金および現金同等物の期末残高 (億円)	133.3	165.8	257.5	194.1	117.1	145.8	160.4	143.2
従業員数 (人)	252	262	338	336	337	307 ^{※2}	355	383

※1 「収益認識に関する会計基準」の適用により、比較のため国内不動産ファンド事業の売上高を総額方式で組み替えた値

※2 2023年9月期末の従業員数が前年比減少となった主な要因は、2023年4月に株式会社FPGテクノロジーの株式譲渡により、2022年9月末現在で49名在籍していた同社従業員数が連結対象外となったためであり、実質的には、2023年9月期の従業員数は前期末対比19名増加

SDGsへの取り組み

重点項目・関連するSDGs

1. 地域経済・地域社会への貢献



具体的な取り組み

- 地域医療に貢献
 - ・鹿児島県、沖縄県の離島に医療従事者を航空搬送するサービスを株式会社オンリーユーエアが提供
- 地域金融機関との提携を推進し、地域経済を支える中小企業に貢献

2. 地球環境にやさしい取り組みの実践



- CO2削減に関連した取り組み
 - ・環境負荷を低減する技術を採用した航空機・船舶を対象としたトランジション・ファイナンスの積極的な取り組み
- DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による、業務効率の抜本的改善
 - ・電子デバイス、電子ファイルを活用したペーパーレス化の推進
 - ・契約書等における電子署名の活用

3. 人権・ダイバーシティの尊重および人材育成・働き方の改革



- 障がい者支援への取り組み
 - ・2020年11月より、一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営するパラリンアートのオフィシャルパートナー（ゴールドパートナー）に協賛
- スポーツ振興支援への取り組み
 - ・2017年3月より、卓球 張本智和選手とスポンサー契約を締結
 - ・2018年3月より、卓球 張本美和選手とスポンサー契約を締結
- 経営戦略の実現に貢献できる人材育成、多様性のある人材の登用
 - ・女性活躍の推進（2025年9月末時点の女性管理職比率 6.3%）
 - ・外国籍社員の積極登用
 - ・資格取得支援制度の充実（補助金の支給により社員のキャリアアップをサポート）
- 多様で柔軟な働き方の推進
 - ・産休・育休取得率／復帰率100%の実現

4. ガバナンスの強化



- 取締役・経営陣の選任における独立性と多様性の確保
 - ・独立社外取締役を3分の2以上選任
 - ・女性取締役および女性執行役員員の登用
 - ・外国人取締役の登用

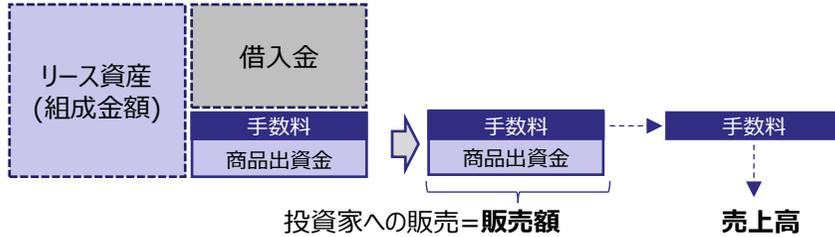
本資料中の事業区分と売上高について

■ 本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの事業区分に分けて説明しております。

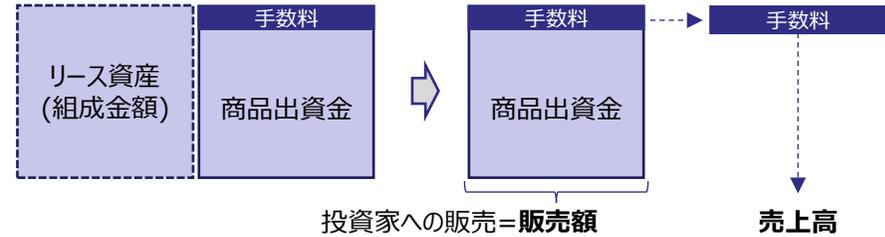
リースファンド事業

航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業（リースファンド事業）の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しています。組成案件は一般的に借入金を組入れています。組成条件次第で借入金を組入れない「フルエクイティ案件」を組成する場合があります。

【借入金を組入れる案件】



【フルエクイティ案件】



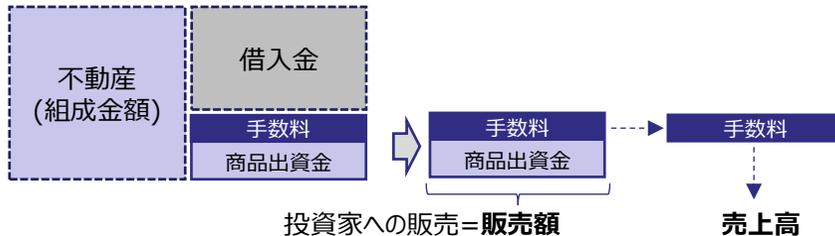
国内不動産ファンド事業【不動産小口化商品】

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っており、投資家への販売額等を、売上高として計上し、不動産取得額を原価に計上しています。



海外不動産ファンド事業【海外不動産投資商品】

海外不動産を対象とした集団投資事業案件の組成・管理および投資家への任意組合出資持分の販売を行っています。売上高は、集団投資事業案件の組成におけるアレンジメント・フィー、任意組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等が計上されます。



その他事業

航空事業、共同保有プラットフォーム事業、M&A事業等を総称して、「その他事業」としています。

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G

担当部署：経営企画部

TEL: (03) 5288-5691 E-mail: ir@fpg.jp URL: <https://www.fpg.jp/ir/inquiry.html>